

(別紙4(2))

事業所名 : グループホーム ひやみかち小祿

作成日 : 令和元年 11月 22日

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点・課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束廃止委員会を全体ミーティングのなかで行っているが、議事録を一緒に記録していること。	・身体拘束0になったことを忘れることなくよりよいケアを考えていく。	・身体拘束廃止委員会の簿冊を用意する。 ・12月の全体ミーティングからは、身体拘束廃止委員会の議事録は簿冊に記録する。	1か月
2	35	避難訓練の届け出が2回目は出されていないこと。 備蓄リストは作成したが、定期的なチェックができていなかった。	・今後も年2回以上の防災避難訓練の実施 ・備蓄担当は管理を充実させる。	・消防署へ防災避難訓練の届け出を確実にを行い、訓練を実施する。 ・備蓄担当は備蓄リストに載っている賞味期限を定期的に点検できるように、備蓄リストを見やすい場所に掲示すること。介護主任をはじめ他の職員も意識して声かけを行うようにする。	1か月
3	47	薬の飲み忘れが多々ある。	・誤薬を0にすること。	・薬剤師等の意見を踏まえ、服薬事故防止対策マニュアルの作成を行う。	3か月
4	54	居室にナースコールを設置していないため、入居者が居室にいる時、意思表示できる方の緊急時の連絡手段がない。	・意思表示できる方が緊急時に伝えることができる。	・居室へのナースコール設置を検討中。 ・意思表示が可能な方には鈴等の呼び鈴が使用できるように準備する。	1か月
5					か月

注)項目の欄については、自己評価項目の番号を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。